

# 追悼

## 安中徳二前会長を偲ぶ

令和2年6月7日に本会前会長の安中徳二博士が享年79歳でお亡くなりになりました。安中前会長は、建設省下水道部長など数々の要職を歴任され下水道界を牽引してこられた重鎮中の重鎮の方でした。ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

安中前会長に初めてお会いしたのは土木研究所の水質研究室でした。前会長は岡山県下水道課から室長として赴任され、私は社会人2年目の研究員でした。温厚で親切な性格の方だというのが第一印象でした。研究所内はもとより何処に行っても「安中さん！安中君！」と声をかけられていました。若手研究員の徹夜の調査では差し入れをしてくれたり、訪ねてきた外国人と談笑したり研究所の懇親会ではバイオリンを弾いてくれたりと実に多彩な大人でした。また当時は单身寮にお住まいでしたが出張でつくばにいないとき以外は毎晩のように安中学校が開催され色々なお話を伺いました。どの分野の話題でも極めて造詣が深くそれぞれに感銘を受けたことを思い出します。出雲工事事務所への出張と一緒にすることがありました。寝台列車に乗って夕飯を食べながら湖にまつわる水質問題の奥深さを教えて頂きました。狭い国土の中で平らな土地が広がる湖の流域は都市用地としても農林水産業用地としても開発適地で水質問題は避けて通れないというお話は今でも鮮明に覚えています。

2年ほど水質研究室長を務められた後、本省下水道部に異動され主に行政の道を歩まれました。私とは3階級ぐらい職制が違いましたが本省でも時々薫陶を受けることができました。

その後、前会長が赴任した岡山県に私も平成9年～10年とお世話になったのですが、ここでも前会長の活躍話を県庁職員やOB、県会議員、市

森田 弘昭

MORITA Hiroaki

(一社)日本非開削技術協会  
会長



町村職員の方々などからたくさん伺いました。初出勤日の歓迎会から退任日まで一度もご自宅でご飯を取ることは無かったそうです。

私事になりますが前会長ご夫妻と私達夫婦でラウンドさせて頂いたこともあります。ラウンド中の洋子夫人とのやり取りがいつもの前会長と違い微笑ましかったです。また岡山県に訪ねて来られたご夫妻と私達夫婦が夕食を一緒にする機会もあり前会長の岡山県庁時代のプライベートなお話をたくさん聞かせて頂きました。いずれの機会においても前会長を支える洋子夫人の姿が印象的でした。

前会長が日本下水道協会理事長時代の出来事ですが各団体の総会時期は総会が重なることがあります。そのため前会長は会場を掛け持ちで挨拶をすることが多く一度、私が出席した総会から次の総会会場までのエスコートをお願いされたことがありました。地下鉄の中で土木研究所時代を懐かしそうに話されているのが記憶に残っています。

平成27年に私が日大に奉職すると前会長から大学での活躍を楽しみしているという暖かい気持ちの伝わるお手紙を頂きました。このお手紙は今も大事に保存しています。

そして私が本協会の会長を拝命した平成29年6月に職員と一緒にご自宅に挨拶に伺いました。この時にも土木研究所時代のお話や国際交流のお話をお伺いすることができました。しかしこのご挨拶のあとはなかなかお会いすることが出来ず、これが前会長と直接お話した最後の機会となりました。

前会長のこれまでのご功績に敬意を表するとともに本協会を永い間ご指導賜ったことに心より感謝を申し上げます。